

# 風俗学入門 ③

向井 修二 <プロデューサー>

## 流行音論

流行語ではなく、流行音の例をあげるならば、アクセントのつけ方・余韻の残し方を持つた言語障害的、開け放たれた口によってできています。主語と述語を欠いたすべてのコトバによって互いに交流しているのです。

### ☆マンガより

クソシテネロー、モミ・モミ、ホジホジ、オエッゲボク、鼻血ブー、ドバーツ、オンドリヤーアーク、ワリヤア!!



ネノ 等少し少なくなってきました。

### ☆テレビでは

ノッテル、コエテル、ススンデル、グー、ウハウハ、カンチヨウしちゃうからノ  
ヌ・ヌ……おぬしできるナ、……ナイヨ……  
〜デスネ……デスネ、〇〇もアルデヨウ、ズツ  
コケル、イチ・ニイ・サン・シー、ヤツタゼ、  
チャン杉作勉強セイヨノ、ガボガバガフエン  
ーハイ・ハイ・ハイ・ハイ、……ゴザイマス、  
ナンテエイコトオネ、アンタナンカシランツ

やる、全国的にアサ

ー、ヤルキ  
・ナイモン、  
……ベシ、  
……ズラ、  
……なのだ、  
……デュー  
……メツタ  
メツタ、ゴ  
ゼイヤシタ  
……ダモン

ン、コレカラワー、オクレー、そんな言うたらアカン、ワカリマチタ、オシエテクデー、ガンバラナクツチャ

### ☆デスクジョッキーからは

ワーレンド、ヤルキムンムン、その気ムンムン、パチパチ、ケツケツ、チャムチャムミツチャム、マンネン、など多くあるはずだけれども、あまりになれてしまっていて思いつかない。

### ☆自然発生・その他の音の中には

ヨクイウヨ、バツチリ、オヌシ、バツツグーン、シラケルー、デエキイルーウ、ヤールモンダネエー、ヤルウ・サースガアア、ピンピン!!、ガンガン!!、パンパン!!、決いまってウー、コオーノオーオツ、ダメエーオックウー、ソク、ヤアードヤダ、……なんだワア、カワイソオー、ホンジヤマター、ホモダチ、チビリミニマム、アンタダイレクターか?、あらかじめ。

### ☆学生運動からは

シヨモオー、ハネアガリメー、ダンコ、ゾッコゾッコ、ジュシユ、プレブレ、など少し古くなりつつあります。

若い世代のリズム感が主になったこれらの音は現代のコミュニケーションではなくてはならない表現であり、それらを早く理解しなければ日本人ではないのである。終わりにこれ以上羅列するべきコトバが今日現在ないのである。

# キリシタンの墓

小山 牧子

え・石阪 春生

## 燃える海——断章 2

あらずし、二年前短期大学を卒業した佳は、母であり、歌人である蘭子との生活に思つまりを感じ、米国系海運会社のエージェンツに勤めに出ることにした。ある日佳は願成寺の墓地の暗がりであつた村重船長と名のる老人から、自分の父村林裕作の過去を知る。その父が久しぶりに航海を終えて神戸に帰ってくるが、蘭子の冷たい態度に佳の心は複雑だつた。そんなある日、佳は蘭子の短歌が新聞に載っているのを見つけるが、まさしくそれは裕作の初恋の女性、故由佳子の短歌の盗作であつた。思いあまつた佳は歌誌「せせらぎ」主幹に密訴の手紙を書く。そして主幹の怒りにふれた蘭子は完全に短歌界から抹殺されることになった。その後の蘭子は正気を失つたように館の一室にとじこもるようになり、ある日突然姿を消した。

まだ陽が登りきらぬ夏の朝、大地と樹木、古い館の板壁、窓、人々の肌、すべてがしつとりと水気をふくんでいる朝は、なんとさわやかなことだろう。葉をふとらせた樹木は繻子のように艶やかな葉裏をきらきらと輝やかに、新鮮な涼風がぬれた肌にやさしく触れて行く。

佳は、澄んだ朝の大气がみちる館の窓辺に立ち、生きいきと陽の色を濃くしてゆく世界を見つめていた。空は深いコバルト色に澄んでいたが、陽の色に焦熱の棘があった。

「きょうもまた暑くなる……」

つぶやきながら、佳はなぜか寒かつた。次第に熱気をみなぎらせてゆく大地の気配から切離されたように寒い。この寒さの原因はわかつている。振りはらつても振



りはらつても、佳の全身にまといついてくる強い不安、あの錯乱状態に近かつた蘭子の姿が、館の中れない。それが、さまざま悪い予感となつて季節はずれに佳を震えあがらせるのだ。

「朝早く起きるつて気持がいいもんだね、ケイ」背後でドアが開らき、父の声が響いた。父の声は、手に持った葉巻の香りと共に佳の不安にさいなまれ緊張した気持とはそぐわぬ屈託のなさて、佳の部屋全体に広がつた。そして、なんでもないことのように、

「ママいないんだ。こんなに朝早くどこへ行つたんだらうねえ」

かけりなく話す父の言葉聞き、佳はあわてて振り返り、父、裕作の顔を見あげた。心の動揺を父に感じとらせてはいけない。いま蘭子については考えたくないのだが、佳の耳はいままなお幻聴のように、昨夜から今朝方

にかけて夢うつつの中で聞き続けたあの暗い暗い海鳴りの音を聞いていた。どおろお・ろん、どおろお・ろん、脇坂紫峰が失踪した夜明けに聞いたのと同じ海鳴りの音——。その音を引裂いて響く断末魔のように苦しげな蘭子の絶叫の声は、佳に何を予知させようとしているのか。

振り返って見た裕作の顔は、意外と明るく朝の生氣に満ちていた。過ぎたひと時、蘭子と小ぜりあいを繰り返して、酒におぼれていた頃の男の荒みはない。

——こんなパパの顔は好きだ。佳は、次ぎ次ぎにおそつてくる妄想を振り払うように裕作に微笑みかけた。

「お早よう、パパ。もうお腹がへたって顔してるのね。だつたらわたしもがんばらなくちゃ」

わざと大仰にはしゃいでみせる佳の内側をのぞいてみることはしない裕作である。

「ママの代わりに、今朝はわたしがお食事の支度をするわ」

「そう、久しぶりに佳の腕前が見せてもらえるの。お嫁にいったつもりで念入りにたのむよ」「いやなパパ」

笑いをふくんだ目でにらみつけ、

「パパのご要望には答えられません。サラダと目玉焼きで我慢してちょうだいね。だつてわたし出勤前なんだから、忙しいのよ」

朝の光が、調理場の汚点を申し分なく浮きだたせている。野菜くずの一片も落ちていない程に、昨夜、佳の手で几帳面にあと片づけがされていたけれど、片づいていればいるほどに白い壁に滲んだ油煙やしみが目立つ。その奇妙にそそり立ったさまが、この館に主婦がいながら、主婦の心が暮らしの場所から遠くへだたつた所をさまよっていたことを如実に語っている。調理場が空洞化したのは蘭子がいなくなつたきょうに始まつたことではない。何年も前から、調理場は、寒さむと風の抜ける場所だつたの。

が、朝の光は新鮮だ。窓を開け放つと、北からの涼風

が部屋の中のカビ臭いにおいを払ってくれる。

流し台の前に立ち、佳はゆつくりと薄紅に熟れたトマトを切つた。深緑の胡瓜を切つた。パンを焼いた。適確に動く手に関係なく、なおも耳に響くあの海鳴りの音と執拗にまつわりついてくる蘭子への不安を、何度も頭を激しく振って遠ざけた。

やがて、テーブルを間にはさんでむき合い、父と娘は食べはじめた。堅い石のように二人は黙り合っていた。

何かを言わねばならないが、言うのを避けて、二人は黙々と食べる。朝食の時間が過ぎようとしているのに、何処からも帰ってこない蘭子を、父もまたいぶかりはじめたのだろうか。蘭子についての共通の話題を避けることで、二人は不安な予感をわけあっていたのではなかつたらうか。そして、その不安をわけ合っているゆえに、二人はむつまじく、特に佳は父にやさしかった。

「パパ、コーヒも一杯どう？」

「あ、もらおうかな」

香ばしいコーヒの匂いが部屋いっぱいにただよい、裕作は美味そうにコーヒをすすりながら

「何だか変に静かだね」

驚いたようにあたりを見まわすのである。——そうママがいないから。

心でつぶやき、佳もまたその静かさに気づく。が、静かさは、いまの場合、安らぎではない。一つのわだかまりだつたのだ。蘭子がいらない館で、父と娘はあらためて蘭子が占めていた存在の大きさに気づいたようである。その蘭子の存在が抜け落ちた空洞に寒むざむと風が抜けている。佳の心にも風が吹き抜けている。

佳はその館と心を吹き抜ける風をしばし押しとどめ、空洞を別の何かでみたそうと考えた。

「レコードをかけようか？　パパ」

そうだ。こんな場合、レコードが良い。ほつかりと開いた館と心の空洞を、風に代わって音楽の旋待がやさしく流れるだろう。そして蘭子もやがて悪い夢から醒めた



ように帰ってくるに違いない。

「ブラームスはどうか？」

「ブラームスねえ」

苦い笑いと共に、裕作はゆっくりと首を振る。

「あ、そうか。クラシックでパパが好きなのは、ベートーベンだけだった」

「ベートーベンがいいねえ。第五をかけてもらおかな」  
「いいわ、だけどずいぶん深刻なものかけるのね。やはり男は違うのね」

ステレオの前に立ち、佳はつぶやく。

わたしは今の気分で運命を聞くの少しつらいわ。だから甘い音楽とおもったんだけど。やがて運命が戸を叩く、

音楽的なきびしさと、強い意志をあらわす第一主題が部屋中に鳴り響く。執拗にくり返えされる「運命動機」としての第一主題にかぶさるようにホルンに誘導される第二主題のバイオリン。巨匠の手になる音楽は、人間が後生大事に守っているささやかな喜びや、己れ一人の身に負う悲しみを吹き飛ばしてしまうかとおもえる迫力で、佳の心に響く。この音は、佳に恐怖をさえも与えるのだ。

それに、佳は偉大な、そして闘争的な「運命の契機」の旋律を聞いている器官の別のどこかで、やはりあの昨夜、眠り込んでから聞いた幻聴のように、暗い海鳴りの音を聞いていた。

聴覚を失い、愛するものに裏切られ、孤独で悲劇的な生涯を送った大芸術家の血潮の高鳴りであったかも知れぬシンフォニーと海鳴りの音が、佳の内部でおどろに競い合っている。どおろお・ろん、どおろお・ろん……。

突然、二つの音が極限まで高まったとおもえたとき、佳はある別の音を聞いた。それは単車のエンジンの音で、下の街から台地へ一気に坂道を駆け上がったあと、少しも速度をゆるめることなく検葉垣の繁みに縁どられた小路を、佳の館の方へ近づいてくるらしい。

佳は、それを運命がノックする音と聞き、おもわず父の顔を見た。

恐しい宿命が、二人の上にかぶさる予感におびえながら、貝のように唇を閉ざしてそのことを語らず、当たり前さわりのない会話を交わし、朝の食事を続けていた父と娘——。いつの間には、父のくつろいでいると見えた表情は消え去り、眉間にけわしい縦皺が一本きざまれているではないか。

佳は、ロビーに立った。音楽はアレグロからアンダンテへ、寄せては返えず波音に似た静かな旋律に変わる。が、主題はやはり細い一本の銅線のようにシンフォニーの幹にまつわりついている「運命の契機」。

それにしても、なぜ父の裕作は、今朝に限ってこの決

★新しい関西を創造する総合雑誌

# オール関西

<3月号予告>

☆グラビア この人この時

大信田礼子/鶴沢完治/岡本道雄

☆オール関西六周年記念特集

ディスカバー大阪

対談 石浜恒夫/進藤次郎/木崎国嘉

ルポルタージュ

随想/楠本憲吉 他

グラビア/いとはん こいさん

☆行政と文化 大阪市長と朝比奈隆

奈良市長と青山 茂

☆グラビア 私とオヤジ

御木徳近・御木白日

朝比奈隆・朝比奈千足

片岡仁左衛門・片岡淳子

阪急三番街随想

商売の最前線/高野鐵一

京の宿/大文字 邦光史郎

創作/島久平

And His Ladies/会田雄次

★オール関西編集部

大阪市北区曾根崎一丁目三〇 八千代会館 3F

TEL 06-313-2635・0588

定的な音楽を所望したのか。音楽がやさしい旋律に変わっても、佳の胸が高まるあの暗い海鳴りの音は静まらなかつた。

単車は、佳の館の前でびたりと止まったらしく、すぐに松葉垣越しに白いヘルメットの動くのが見えた。ヘルメットをかぶった頭は、自信ありげに進み、館に通じる道に曲がってくる。それは、警棒を腰にたばさみ、肩から拳銃までつるし持っていたが、佳がいつも通りすがりに親しんでいる駐在所の警官であった。

警官というものは、職業柄のためか、いつも相応にいかめしい顔をしているものである。だから、この日、佳の館を訪ずれた警官の二人が、奇妙に張りつめた顔をしていても不思議はないのである。

が、逆光をあびて戸口にたたずむ二人の警官の黒ずんだ顔を見たとき、佳はなぜか、ずつと昔、佳が生まれる以前の太古からの不吉な約束がいま果たされるのだという確信に似たおもいに捕えられた。

「村林さんのお宅ですね」

やがて、警官の一人が視線を佳からそらしながらたずねた。

「蘭子さんは御在宅ですか？」

「外に出ていますか……」

「どこへ行かれたかわかっていますか？」

「いいえ。昨年、家を出たらしくて、まだ帰ってこないんです」

「やっぱりという表情で」

「それは……」

いつか、父の裕作もロビーにあらわれ、佳の背後に立った。

「今朝、塩屋の沖で、砂利の運搬船が溺死体を引きあげたんですが、帯の間に『村林蘭子』という名前とこの住所を書いた原稿用紙の切れっぱしをはさみ込んでいます」

警官はそこで言葉を途切らせた。が、二人の表情は彫像のようにゆるがない。

「遺骸は港湾病院に収容してありますので、すぐ行って下さい」

答えるべき言葉は唇で凍り、凝然と立ちつくす二人の背後で、終章を奏で終えた音盤の上を、レコード針がむなしく空転していた。

△つづく▽

# 曲線ハイウェイ

武田 繁太郎  
え・横塚 繁



★あらずし 東名高速・浜名湖サーピスエリアで、多木洋介は若い神戸の女性宇津康子と知り合い、幾度か逢瀬を重ねた。康子の魅力につかれた多木は、正体を知るため、神戸出身の友人岡本和彦と共に東名神を走り、神戸へ来た。康子を見出せぬ多木は、彼女の面影に似た辰馬英子を紹介され、六甲山をドライブに出かけた。ロマンティックな情景に誘われて、英子を抱きしめた多木の胸に、始めて感じるいとおしさがつづいた。その夜須磨のホテルで二人は愛をたしかめあった。

遠い潮騒のように、辰馬英子の官能の轟きは、神戸から東京に帰ってきて、いつまでも、多木の体内から消えなかった。

すてきなムスメだった、と思う。

おなじ女子学生でも、多木がこれまで付きあってきた女子学生とは、英子は、まるきりちがっていた。

もちろん、英子との場合も、他の女子学生と同様、ブレイにはちがいがなかった。

二人とも結婚とか、将来への愛の契りとかいった、たがいにたがいを拘束しあうものを前提にして、結ばれたわけではない。

いわば、ゆきずりの恋であった。

だが、そこには、愛があった。たとえ東の間に燃焼しきったものであったにしても、二人のあいだには、まぎ

れもなく、愛しあう心が存在した。

二人は、たがいに相手を好ましいひとだと感じあった。同時に感じあった。愛は一方的なものではなかった。相手が自分に好意をおぼえてくれていることを、たがいに感得していた。

二人は、愛の心をたがいに確認しあったからこそ、ごく自然に、なんのためらいもなく、なんのこだわりもなく、たがいの肉体をたしかめあうことができた。たがいに、むつみあう欣びを味わうことができた。

それで、十分だった。それで、二人とも満足だった。思いのこすことはなかった。

「君に逢えて、よかったよ」

「あたしも。うれしかったわ」

二人は、さいごのあつい口づけをかわして別れた。

二人の心は、さわやかだった。晴れ晴れとしていた。

二人が、二人の愛をあすへも持続したいと願うなら、それは、あすからの新しい愛のはじまりだといえたらうきょうの愛は、きょうの愛として、完全に昇華していた。残っているものがあるとすれば、それはむつみあいのたのしかった思い出だけである。

思い出もまた、たのしい。だが、おうおうにして、人びとは、この思い出を愛そのものと錯覚する。その錯覚が、多くの悲劇を生み、喜劇を生んでいた。

二人は愛しあい、そして、その愛情の当然の営みとして、たがいの肉体をおしげもなく与えあった。

二人の愛がふかければふかいほど、二人の味わうセックスの欣びもまた、ふかい。それが、愛とセックスとの自然な在り方だった。

男と女がセックスを交わしあうために、それ以上のどのような条件が必要だというのだろうか。

どんな条件も、必要ではなかった。愛の心さえあればよかった。それが、セックスのまっとうな姿であった。

これを裏がえせば、愛のないセックスは、不自然で、歪んだセックスだといえたらう。不自然で、歪んだセッ

クスは、男にも女にも、快樂らしきものは与えてくれるが、けっして快樂そのものを与えてはくれない。男が売春婦を買う場合がそれである。

多木が、女子学生と付きあって、多くの場合失望するのも、この愛の不在のためであった。あるいは、愛の一方的な偏在のためだった。

好きでも嫌いでもないのに、気まぐれのように、六本木あたりで拾った女子学生と、戯れの一夜を俱にする。

二人を結びつけているものは、相手が異性だということだけだった。そこには、相手のセックスにたいする興味と、そのセックスで快樂を味わいたいという欲望があるだけだった。

もちろん、それでも、セックスはおこなえる。官能は刺激され、皮膚感覚は反応を示し、相手のセックスによって、男も女も、快樂のあつい吐息をつきあうこともできる。

だが、これは、たんに生理の排泄作用にすぎなかったフリー・セックスなどという流行語を鵜呑みにして、こういう愛のないセックスを、これこそ、セックスそのものを純粹に愛する、新しいセックスの姿だ、などと思ひこんでいる女子学生もあった。

こんな新しがり屋の女子学生とは反対に、たったひと晩寝ただけで、ひと夜明けると、「こうなったからには結婚してくれるわね?」

と、多木に強迫じみたことをいいたす女子学生もいた「あたし、あなたがはじめてだったのよ」

そう付け加えることも忘れなかった。

そんなことは、本人にいわれるまでもなく、多木は、抱いてみて、すぐわかった。

多木は、思わず吹きだしていた。

「結婚? 君とおれと? こりゃ、驚いた」

笑いとばしながら、多木は、この女に激しい怒りと蔑みをおぼえていた。

どんな女にも、セックスはあった。そして、未体験な

女には、当然のように、そのセックスをおおっている一枚の膜があった。

すべての女が持っているという意味で、女のセックスと膜には、希少価値などなかった。それらは、ただ、あるべき部分に存在しているという意味では、ほとんどまったく無価値であった。

この女子学生は、その無価値なものを、価値あるものごとく、男に売りつけようとしている。結婚の取り引きに利用しようとしている。そういう女のこずらい計算に、多木は、腹をたてていた。



「冗談じゃないぜ。だれだって、男だって女だって、さいしょのときは、みんな、はじめてさ、だれだって、かならずいっぺんは、はじめてを経験する。ただそれだけの話じゃないか」

「ひどいことをいうわね。あんたは、女の気持ちなんか、ぜんぜん理解しようとはしないのね」

「おれは、ありのままをいっただけだ」

「それじゃ、あんたは、男としての責任をとらないっていうの？」

「男の責任？ そりゃ、いったい、なんだ？ そんな言葉、おれは、きいたこともないな」「そんな逃げ口上、卑劣よ」

「卑劣？ それじゃ、いつてきかせてやろう。結婚は、責任をとるためにするもんじゃない。そんな結婚なんて、おれは真っ平だよ」

多木は、冷たく突っぱねるようにいった。

たいていの女は、それで、シクシク泣きだすか、あるいは逆に、ヒステリックに噛みついてくるかした。

だが、そのどちらにも、多木は、心を動かされなかった。動かせば、負けである。妥協や、弱気や、憐憫は禁物であった。そういう気持ちを起すことは、自分自身にたいして不誠実になることだった。

男の誠実さとは、この場合、女のいうような男としての責任をとることではない。

たったいちど寝たばかりに、女にせがまれて、結婚し、愛のない、不毛な砂漠のような夫婦生活を味わわされている先輩を、多木は、知っていた。

れっきとした一流会社のエリート社員だったが、この先輩の夫婦生活が不幸だったとすれば、その原因は、やはり、彼が、男の責任などをとったからにちがいがなかった。

それは、自分自身に不誠実だっただけでなく、その不誠実さが、彼の妻をも不幸にしていた。

男が責任をとるといふことは、愛についても、ほとんど

＜神戸の催物 3月ご案内＞

＜音楽＞

★第2回象印歌謡フェスティバル 森進一ショー  
3月4日(土) PM 2:00~4:00 PM 6:00~8:00  
神戸国際会館 入場無料

★鉄砲光三郎ショー 3月6日(月) PM①2:00~4:00  
PM②6:30~8:30  
民音 会費 700円 神戸国際会館

★バコデルシャフラメンコギターリサイタル(写真)

3月11日(土) PM 6:30  
~9:00 神戸新聞会館  
入場料 S ¥2,000 A ¥1,700  
B ¥1,400 C ¥1,000

★ドイツ・パッサリリステン演  
奏会 3月14日(火)  
PM 6:30~9:00

神戸国際会館  
入場料 A ¥2,800  
B ¥2,400 C ¥2,000  
D ¥1,700 E ¥1,400

労音 会費 1,500円

プログラム/ブランデンブルグ協奏曲 第3番 長調  
二つのバイオリンのための二重協奏曲  
ブランデンブルグ協奏曲 第6番 変ロ長調  
フルート・オーボエ・バイオリンのための三重協奏曲

★エッセン・パッサリアノ独奏会

3月15日(水) PM 6:30~9:00 神戸国際会館  
入場料 A ¥2,500 B ¥2,200 C ¥1,700 D ¥1,200

★歌劇「沖繩」

3月21日(火) PM 6:00~9:00 神戸国際会館  
入場料 S ¥2,000 A ¥1,800 B ¥1,500 C ¥1,000  
労音 会費 1,800、1,500円

★クロード・チャリリサイタル 神戸労音 会費 1,300円  
3月29日(水) PM 6:30~9:00 神戸国際会館

＜演劇・演芸＞

★吉本爆笑スターパレード 3月2日 PM 6:30~9:00  
3日 PM 2:00~5:30、PM 6:30~9:00  
神戸国際会館 入場料 A ¥1,200 B ¥8,00

★前進座公演「親鸞」 3月8日(水)

①AM10:00~2:00 ②PM5:30~9:00 神戸国際会館  
★仁鶴・にかくショー 3月12日(日) 民音 会費 750円

①PM2:00~4:00 ②PM6:00~8:00 神戸国際会館

★テアトル・エコー公演「運元の冒険」

3月16、17、18日 PM 6:15~9:00  
神戸労演 会員券 700円 神戸国際会館  
作/井上ひさし 演出/熊倉一雄 出演/熊倉一雄・平井  
道子他

★演劇名人大会 3月20日(月) PM1:00~5:00

入場料 特別席 1,000円 1等 800円 神戸国際会館  
2代目 轟島秀明 3代目 東家三楽 襲名披露 特別公演

★文学座公演「華岡青洲の妻」 3月26、27日

PM2:00~5:00 入場料 A ¥1,800 B ¥1,500  
C ¥1,200 D ¥ 800 神戸国際会館  
出演/杉村春子・北村和夫・三津田健也

★「屈原」 河原崎長十郎主演 3月27日(月)  
PM6:00~9:00 入場料 A ¥2,000 B ¥1,500  
C ¥1,000 神戸国際会館

★パリ・オペラ座 バレエ団 3月28日(火)

PM6:30~9:00 入場料 S ¥4,500 A ¥4,000  
B ¥3,500 C ¥3,000 D ¥2,000 神戸国際会館



と、女のほうで愛想づかしをして、彼から逃げだしていった。  
愛のない男女の関係を切るには、そうして無責任にふるまうことが、男としてもっとも誠実なやり方だった。  
辰馬英子は、いままでの女子学生などとは、別の人種のようにであった。

そこで、多少の修羅場や鞘当てがあったとしても、さ  
いごに負けるのは、女のほうだった。  
「あんな無責任な男と、いつまでもかかわりあっていて  
は、こっちが損をするだけだわ。男日照りでもあるまい  
し」  
と、女のほうで愛想づかしをして、彼から逃げだして  
いった。

どなんのかかわりもなかった。男の責任とは、男の虚栄  
の別名である場合が多い。愛は、男の責任などからは生  
まれてはこなかった。愛は、はじめに存在するものであ  
った。なにかから、生まれてくるものではなかった。  
多木は、自分に結婚を強要してくるような女と別れる  
ときには、徹底して無責任な態度にでた。

相手がつまらない女であれば、さらにつまらない女  
と、わざとに寝たりした。相手が不美人なら、もっと不  
美人を物色した。

二人は、別れるとき、たがいに住所や電話番号を教え  
あった。  
「あなたに電話したくなったら、かけるよ」「ええ。い  
いわ。あたしも、かけるわ。いつか、わからないけど」  
「うむ。そして、二人がまた逢いたくなったら、どこか  
で逢おうよ」  
「ええ、いいわ。あなた、そのときには、自分のクルマ  
で、また、神戸にでいらっしやいよ。いつでも、いい  
わよ」  
英子は、おうような笑顔でいった。  
二人とも、たがいの自由を束縛しあうことを避けてい  
た。それが、ブレイのブレイたるゆえんであった。その  
ルールを、英子は、ちゃんと心得ていた。  
すてきなムスメだった、と多木は、あらためて英子の  
面影を思い出していた。  
そんなある日の夕刻、多木の部屋の電話のベルが鳴っ  
た。

英子からかも知れない、と多木は、期待する気持ち  
で、送受器をとりあげていた。  
(つづく)



# 神戸のうまいもん&ドリンクング

## ★日本料理

阿なご寿司 青 辰  
神戸市生田区元町通3-184  
TEL 331-3435

讃岐名代うどん あこや亭  
神戸市真谷区榎塚通7-5 TEL 231-6300  
トアロード店 TEL 391-2538

和食 くれな い  
神戸市生田区中山手通1-1-111  
KCBビル2F TEL 331-0494

かつぱう 花 くま  
神戸市生田区花岡町45  
TEL 341-0240

鯛もの・お七すび 悟 西  
お茶漬・おぼろ 味 酒  
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848  
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび ふ る 里  
神戸市生田区北長狭通2の1  
TEL 331-5535

丸こ 俊 た ち ば な  
三宮センター街(田橋筋) TEL 331-0572

和風料理 楽 し 樹  
神戸市生田区下山手通3丁目41  
トアロード西筋淡路交通入る TEL 391-8649

料亭 大 し ま  
真谷区船内町6丁目39の6  
TEL 221-1360・1945

割烹 喜 久 重  
生田区元町通2丁目82  
TEL 331-1915・391-3385

## ★西洋料理

レストラン ア ポ ロ ン  
ティールーラー  
神戸市真谷区八幡通5丁目5  
TEL 251-3231

レストラン 轟 皮(あらかわ)  
神戸市生田区中山手2-9  
TEL 221-8547・231-3315

純フランス料理 エ ス カ ル ゴ  
神戸市生田区三宮町1-22  
三宮センター街裏 TEL 331-5034

メンバーズクラブ レストラン・コーヒョップ ルカ・カルトン  
生田区北野町3-67-2  
TEL 241-4321-4

ステーキハウス れ ん が 亭  
神戸市生田区下山手通2丁目34  
TEL 331-7168

レストラン 男 爵  
神戸市生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花 屋 敷  
三宮フラワーロード市役所前  
TEL 251-2109

鉄板グリル き ゃ ん ど る  
神戸市生田区北長狭通2-22  
TEL 331-1183

レストラン キングスアームズ  
神戸市真谷区磯辺通4-61  
TEL 221-3774

グリル ケ ー ン ズ  
東店 生田東門筋 TEL 391-0159  
西店 長養会館西下ル TEL 391-3212

レストラン ム ー ン ラ イ ト  
三宮・生田新道  
TEL 331-9554

洋風割烹 和 蘭 陀 屋  
三宮相互タクシー北入  
TEL 321-0230

グリル鉄板炊 月  
神戸市生田区北長狭通1-24  
生田神社前 TEL 33-2509

ビフステーキルーム 則 竹  
トアロード ミズキビル1F  
TEL 331-9580

イタリア料理 ドンナロイヤ  
神戸市生田区明石町32  
明海ビル地階 TEL 331-7158

レストラン ハイウエイ  
神戸市生田区下山手2-20  
TEL 331-7622

ピッツアハウス ビ ノ ッ キ オ  
神戸市生田区中山手2-101  
TEL 331-3545

レストラン フ ッ ク 東 店  
神戸市生田区家町1-5-3  
TEL 321-3207

チャーレスレストラン 那 寿  
三宮トアロード  
TEL 391-1873

レストラン ミリオナークラブ  
生田区山本通2丁目50の2  
レストラン 231-9393-5  
メンバーズ 221-1162

レストラン・ボ  
生田新道

★喫茶 フォーカ  
ウエスタン

宮ホビー  
コーヒ

センター街店・ト

modern Jazz & Coffee 生田区北長

カフェ・スポット サ

★CLUB & B  
くらぶ 阿

club 飛

club S

エドワ

ホワイトローズビル5・6F

club 小

club さ

クラブ ジ

club ル

クラブ 生田区中山手1

洋酒 肆 仏

ル ド ー  
兵庫県中央KCBビルB1F  
TEL 331-3575

ストシティ  
神戸市生田区三宮町3丁目22  
TEL 331-3770

むら珈琲店  
神戸市生田区中山手通1丁目70  
TEL 221-1872-231-9524  
神戸市生田区三宮町2丁目35  
TEL 391-0669

りげなく  
2F-22 TEL 331-9762

ンフラワー  
神戸市生田区・花時計地下  
TEL 331-7794

AR  
以 子  
神戸市生田区中山手2丁目89  
TEL 331-6069

鳥  
神戸市生田区中山手1丁目117  
TEL 331-7627

(エ ス)  
神戸市生田区下山手通2丁目6  
TEL 331-2406-331-8993

ズ 倶 楽 部  
神戸市生田区北長狭通1丁目28  
生田新道 TEL 391-3300

万  
神戸市生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 391-0638-4386

ち  
神戸市生田区中山手通2丁目75  
TEL 331-7120

ヤ ル ダ ン  
神戸市生田区中山手通1丁目111  
TEL 331-8589

イ ス  
神戸市生田区下山手通2丁目29  
ビル地下 TEL 391-5065

鈴  
1丁目111 TEL 331-2403

蘭 西 屋  
神戸市生田区新道相互タクシー北入る  
TEL 321-0230

c l o b な ぎ さ  
神戸市生田区中山手通1丁目111 TEL 331-8626

c l o b 露(ふ き)  
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

く ら ぶ ぶ ー げ ん  
神戸市生田区中山手通1-1-111  
TEL 331-8593

c l o b Moon Light  
B A R 神戸市生田区北長狭通1丁目24  
TEL 331-0886-391-2696

ク ラ ブ る ぶ ら ん  
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

ク ラ ブ ヤ ン グ ベ ル  
神戸市生田区中山手通2丁目89  
光ビル1階 TEL 331-3052

ク ラ ブ シ ャ ル ル  
神戸市生田区北長狭通2丁目10  
TEL 391-3769-3764

★STAND & SNACK

ス タ ン ド 英 国 屋  
生田区下山手通2-6 相互タクシー横  
TEL 331-1100-331-6600

ス ナ ッ ク エ ル ソ タ ノ  
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

ス ナ ッ ク や ん ぐ す ぼ っ と  
生田区下山手通4丁目4の5 下山手マンション1F  
TEL 391-5568

ス タ ン ド グ ラ ム ー ル  
生田筋摩ビル地階 TEL 331-4637

おとぎの国 びーたーばん  
神戸市生田区北長狭通2丁目1  
金剛山南内 TEL 321-1380

n i g h t h o u s e リ チャ ー ド  
神戸市生田区山本通1丁目9  
小寺マンション1F TEL 341-3041

ス タ ン ド さ り げ な く  
生田区下山手通2丁目31  
生田筋上高池西入る TEL 331-3714

グ ラ タ ン 小 屋 5 つ の 銅 貨  
神戸市生田区北長狭通2-14  
金剛山西入る TEL 391-1438

ス ナ ッ ク ビ ジ ー ビ ー  
神戸市生田区中山手2丁目  
TEL 391-4587

洋 酒 の 店 キ ャ ン テ イ  
神戸市生田区北長狭通2丁目3  
TEL 391-3060-391-3010

D R I N K S N A C K ス ネ カ ジ リ っ 子  
神戸市生田区下山手通2丁目  
家業ビルB1 TEL 391-8708

S t a n d & S n a c k サ ン ト ノ ー レ  
ティー&ドリンク 生田区下山手通2丁目トア・ロード  
TEL 391-3822

菓 舌 洞 で っ さ ん  
神戸市生田区北長狭通1丁目258  
三宮映画山入る TEL 331-6278

S T A N D ア ト ラ ス  
生田区中山手通1丁目95  
TEL 331-5433

S T A N D F A N F A N  
神戸市生田区下山手通2丁目29  
TEL 391-1410

ス ナ ッ ク G A S T R O  
神戸市生田区中山手通3-20  
トーママンション TEL 231-0723

ス タ ン ド ク ラ ブ ・ ガ ー デ ニ ア  
神戸市生田区中山手通1丁目115  
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329

S N A C K 山 の 手  
神戸市生田区中山手通1丁目  
ツネビル1F TEL 221-3637

洋 子 の 店 婆 (SARA) 羅  
生田区中山手1丁目91  
TEL 391-1647

ス ナ ッ ク ダ ン デ イ  
神戸市生田区・農家会館西筋上ル  
天野ビル2F TEL 331-6450

S N A C K B A R マ ゼ ラ ン  
神戸市生田区加納町4丁目1  
TEL 391-2366

s n a c k M O R E M O R E  
神戸市生田区中山手通1丁目107  
TEL 391-4162

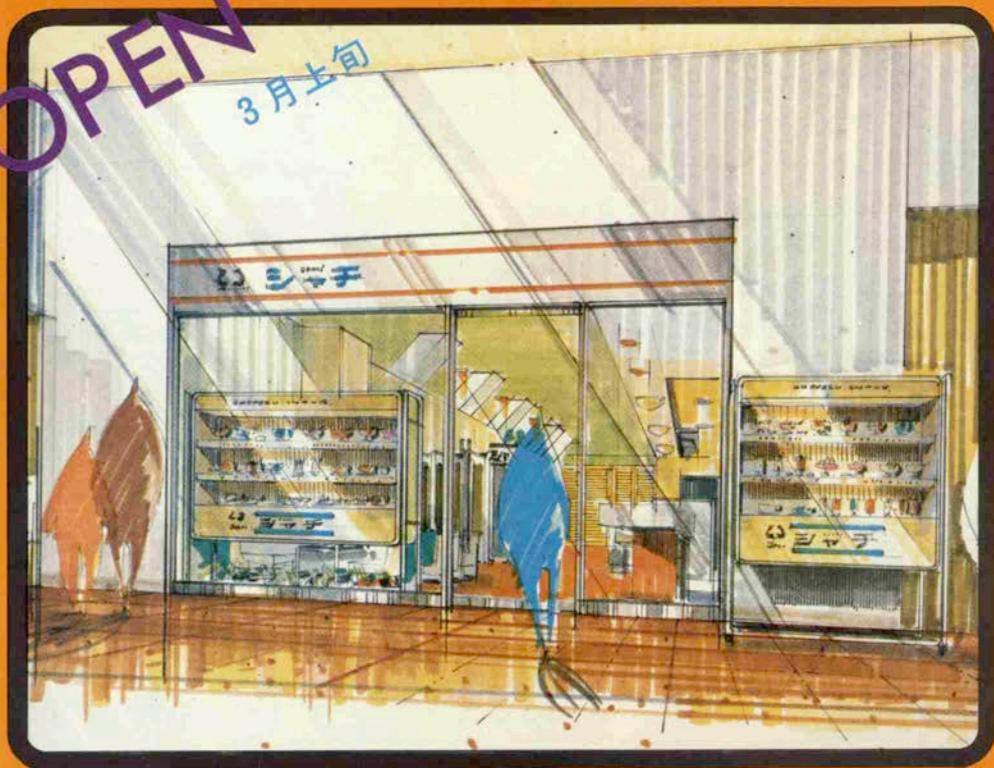
ス ナ ッ ク 山 荘  
神戸市生田区北長狭通1丁目22  
TEL 391-5823

P I Z Z A & S n a c k マ ッ ク ス 5  
神戸市生田区下山手通3丁目16三福ビル2F  
TEL 391-8959

Shachi

OPEN

3月上旬



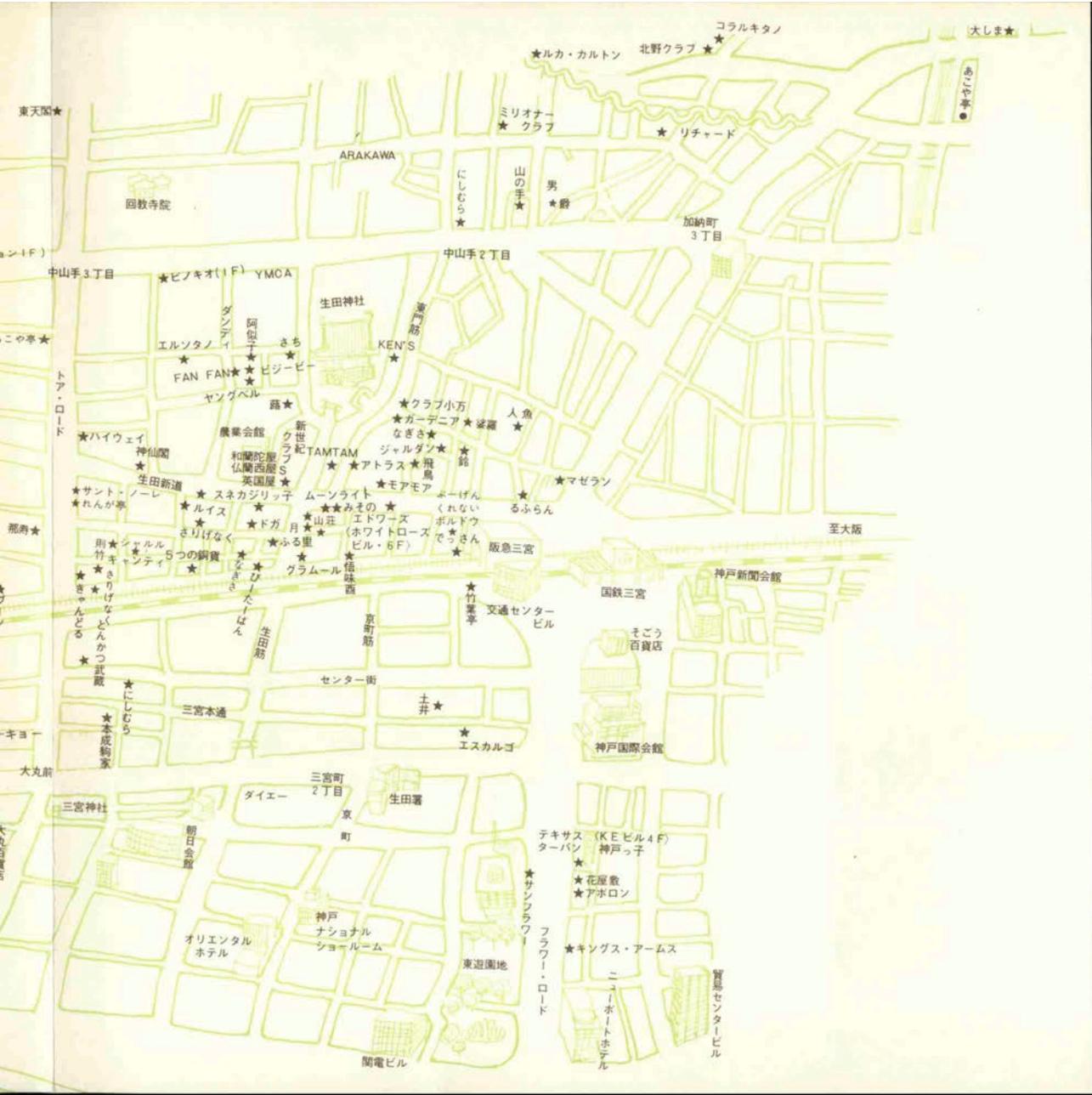
Coffee Shop

SHACHI  
シャチ

新聞会館1階

本部……神戸市葺合区琴緒町5丁目3番地 TEL 221-0161(代)  
元町店・三宮交通センター店・神戸大丸店・貿易センター店・大阪店・神戸銀行店・新聞会館店





大しほ

コラルキタノ

★ルカ・カルトン 北野クラブ★

★ミリオナー  
★クラブ

★リチャード

ARAKAWA

にしむら★

山の手★

男  
★爵

加納町  
3丁目

東天閣★

回教寺院

中山手3丁目

★ピノキオ(1F) YMCA

中山手2丁目

生田神社

KEN'S★

ダンテイ

阿似子

さち

エルソタノ

★ビジービー

★FAN FAN★

★ヤングベル

蕨★

★クラブ小方

★カーデニア★

★なぎさ★

★ジェルダン★

★アトラス★

★飛鳥

★モアモア

★人魚

★マゼラン

★ハイウェイ

★神楽

★生田新道

★新世紀

★TAMTAM

★アトラス

★モアモア

★人魚

★マゼラン

★サント

★スネカジリ

★ムーンライト

★ミズ

★山荘

★エドワーズ

★ホワイトローズ

★ホールドク

★ボルドク

★でるさん

★るらん

★ルイス

★さしげなく

★ドガ

★ふる里

★クラムール

★信味西

★版急三宮

★至大阪

★シャル

★5つの鈴

★なぎさ

★ひん

★生田

★京町筋

★交通センター

★国鉄三宮

★神戸新聞会館

★キリ

★りげ

★なんかつ

★武蔵

★三宮本通

★センター街

★国鉄三宮

★そごう

★百貨店

★キ

★ん

★ん

★ん

★ん

★ん

★ん

★ん

★ん

★本

★成

★靴

★家

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★にしむら

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★成

★靴

★家

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

★三宮

★本

★通

★三

★宮

★本

★通

★三

★宮

社内の懇親に ご商談の場に  
ご家族連れて ご同僚で  
気軽にご利用いただける  
そして最高のムードと最低の料金  
その名の通りみなさま方のクラブです

●会員の特典

A 会員には

サントリーオールド毎月1本進呈

B 会員には

サントリーオールド年間2回1本宛進呈

麻雀その他娯楽施設をご自由にご利用ください。

●パーティ(15人～50人)のお申込みも受付けております。

お1人さま¥1,500～3,000(中華料理バイキング式)

●メニュー

ビール¥300 サントリーオールド¥400 おつまみ¥300



香港風レストラン & 洋酒コーナー

**コウベファミリークラブ**

神戸市生田区中山手通2丁目93  
東洋ビル4F(東洋商事KK直営)

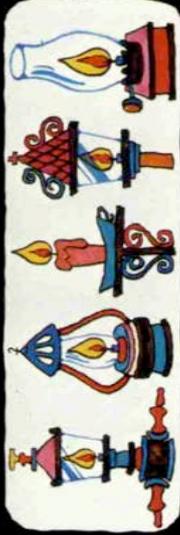
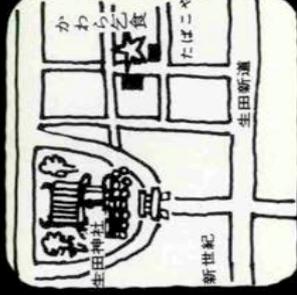
078(391)3051～3054

またもや盗賊の館が  
夢あるユニークな店を開店!

いつ 西歴1972年3月1日午後5時に  
どこで キヤハレ一棟美人前で  
だれが かわらの乞食(盗族の館)——  
だれと 盗賊の船子エーヴニングパーティーを  
なにを 当店のオーブニングパーティーを  
どうする 開店するにあたり、貴殿貴女を  
ご招待申し上げます。

- 当日ご来店に必要な所持品、及び条件  
男 胸に赤いバラ一輪……  
女 何處門にも買入がたいほほえみと  
ユニークなスビーチ

なお、男女問わず合言葉は  
必要とする。その合言葉は  
“かわらの乞食ハンザイ”



MENU

チャーム(付出し)	200円
ビール	300円
水	400円
G&G、キボトル	2,200円
ボタージュとシチュー	300円
ハネ	800円
パン	100円

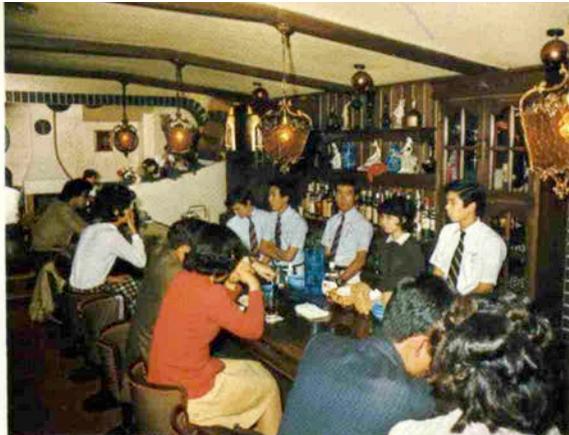


# かわらの乞食



ドリンク・レストラン テントウヤ 生田区中山手通1丁目  
 レインボービル地下  
 TEL. 331-0393

點燈屋



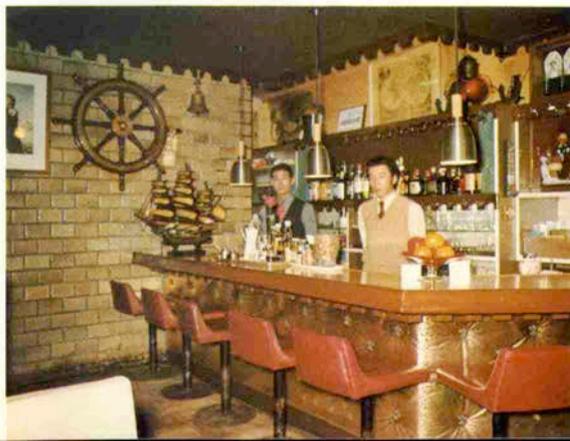
DRINK & SNACK 生田区中山手通2丁目13  
 スネカジリっ子 永晃ビル地下  
 TEL. 391-8708

KOBE DRINKING GUIDE

スナック

マゼラン

生田区加納町4丁目 但馬銀行  
 神戸支店横西入る 391-2366



SNACK

やんぐすぽっと

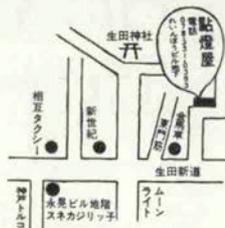
生田区下山手通4丁目  
 4の5 下山手マンションF  
 TEL 391-5568



★昨暮に、中山手1丁目レインボービルの地下に新しく誕生したこの“**点燈屋**”は、皆様おなじみのレストラン・スナック“スネカジリッ子”の姉妹店。三宮のネオン街に灯をともし、またお客様の手でお店に灯をとってもらおうというわけで、一昔前点燈屋が街角のガス灯に灯をともして回った時のどんぶり前かけを、5人の若いお嬢さん方がエプロン代りにしているのがおもしろい。豪華なインテリアの中にも、スネカジリッ子同様の親しみやすい雰囲気にあふれており、古い珍しいランプもあってあるので興味のある方はぜひどうぞ。

水割 ¥400、フィズ ¥400、ビール ¥300、ご婦人専用のボトル（サントリーオールド1本 ¥1,895円）もあり、食事も楽しめる。

P.M.6:00~A.M.2:00 第1、第3日曜日休み。



### テントウヤ

★こがらしの吹く寒い冬から、ポカポカと暖かい春へ、3月というのはそんな橋渡しをする時期でもある。農業会館向い、永見ビル地下の“**スネカジリッ子**”に足を運ぶ神戸っ子にもそろそろ春のおしゃれが目につく頃だ。

ダーク調の落ち着いたインテリアとこじんまりとしたスペース、そして何よりも若やいだ雰囲気がかぐと魅力的。若い素人のパーテンさんたちのきびきびとした動作や気の利いた会話、そしてお客様への細かい心づかい、そんなところに、若い人からご年配の方までこのお店が、幅広い人気をもつ秘密があるのかもしれない。あなたも一度足を運んでみてはいかが？

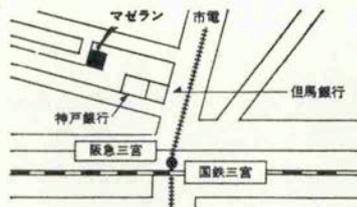
水割G&G ¥300、ビール(小) ¥200、おつまみ ¥100、ピッツア ¥350  
ミニチュアピン(W) ¥500

P.M.5:00~A.M.1:00 第1、第3日曜日休み。



### スネカジリッ子

## KOBE DRINKING GUIDE



### マゼラン

★**輪船**は躍動する神戸港をあらわし、帆船は港に迫る六甲の嶺をあらわしている。神戸っ子の心のふるさとを伝えるミナト街のムードがいっぱいの店、それが阪急三宮の山側、但馬銀行の北路地に入ったスナック“**マゼラン**”だ。

金色の渋いペンダント、黒のレザーストール、そして木目のテーブルと落着きのある豪華さは、さすが神戸のスナックのハシリといわれた風格をもっており、今年で7年目というだけある。マスターの香川さんをはじめ、若いパーテンさんが3人。古代の戦車と戦士のレリーフの中で、なごやかにリラックスできるのが、人を引きつけてやまないゆえんであろう。

年中無休。



### やんぐすぼっと

★今年思いきり飲んで、食べて、おしゃべりしてみたい方、ぜひ一度県民会館の東、下山手マンションの1階にある“**やんぐすぼっと**”に足を運んでみてはいかが？ 文字通り、ここは若人たちの憩いの場であり、コミュニケーションの広場でもある。店内の壁には四面ステレオが備えつけられており、音の響きをよくするために、店内の構造にも細心の注意が払われているだけあって音響効果は抜群。また折にふれてマスターの松谷さんの演奏で真白なグランドピアノの素晴らしい音色が楽しめるのもご機謙だ。カラフルな店内に座っておしゃべりしているだけで何となく楽しくなってくる、若さに溢れたそんな素敵な店です。

営業時間 A.M.11:00~P.M.2:00 P.M.6:00~A.M.1:00  
第1、第3日曜日は休みです。